

ラジオ塔占拠事件の裏側で

DOJIN  
R18  
成人向け  
18歳未満の  
購入・閲覧禁止

コガネシティ

■コガネジム  
ジョウト地方の  
大都市コガネシティに  
設置されているジム。  
若手美少女ジムリーダー  
アカネの指導のもと  
多くのノーマルタイプ使いの  
女性トレーナーが集うジムである。

おんね  
勝ったわ

アカネちゃん

しかし…



■ラジオ塔占拠イベント発生

「そ…そんなウソやる…  
ウチのミルタンクが…」

「へへへ…  
手古摺らせやがってよお  
まさか二十人も連続で  
倒されるとは思っ  
てみなかったが  
コガネジム制圧完了だぜ!!」

「あつ…アカネちゃんまで  
倒されるなんて」

「ちとら  
ラジオ塔占拠チームと別に  
ジム制圧に百人から  
したつば繰り出してんだ」

「ジムリーダーがいくら強がること  
強制連続バトルで削り切れれば楽勝よ」

「制圧後は女共を  
好きにしていと上から  
言われてるからなあ」

「さっとお楽しみ  
タイム突入だぜ  
ひひひ」

「なっ…!!」

「何のつもりや!!」



手持ちを倒され抵抗する術を失った  
女性トレーナーたちに向かってR団員たちが  
一斉に群がっていく……

「ひゃっは〜!!  
♀トレーナー共  
ゲット開始だぜ〜!!」  
「ふっふっふけんや〜!!」  
はっ離せっ!! 離せやあああ!!

いかに手強いジムリーダーで  
あっても生身では  
ただの少女に過ぎない……

いゃあああッ

ゴッ  
イッ  
イッ

彼女たちは狩獵場と化した  
ジムから脱出しようとするが  
既に入入口は大量のR団員たちに  
よって封鎖されている……

次々と捕まり  
押し倒されていく  
ジムトレーナーたち……

ははししッ

やめしえッ

「おらあっ!!手持ちも失った  
ただの雌ガキが  
暴れてんじゃねえっ!!」

「ふっざけんなお前らあ?!  
あんな卑怯な手でウチを倒しといて  
さらにこんな真似恥ずかしくないんかあっ!!!!」

ピリッ

「いっ…嫌あああっ  
手え離せやあっ!!  
見るなあああああっ!!」

ぱんっ

ジムリーダーのアカネに対して  
数人の団員たちが群がっている。  
散々バトルで手古摺らされたアカネに  
恨みと劣情を抱いていた団員は多く  
彼女の服は乱暴に剥かれていく…

グキッ  
グキ  
グキッ!!  
ぱんっ

「おらあああっ!!御開帳だぜえ!!  
うひよ~でつけえ~w  
さすが牛乳ジムのアカネちゃんだぜ~!!」



「おいらっ!!  
剥け剥け!!脱がしちまうぞお!!」  
「ひゅっっ!!見ろよ  
尻もデカケツたぜえ  
たまんねなあ!!」

「いややあああ!!」



「アッ!!」  
逃げてんじやねえよ  
雌ガキはおとなしくよお...  
雌穴便器になっとけや!!」

「アッ!!...アッ!!  
何っちの尻に押しこめしけやめなアッ!!」

「じやッ!!  
ばッ!!」



「ぞんじやあ...  
生ハメ一番槍メガホーン  
いくぜええええ!!」

「ズズ!!」

「ギガッ!!」

「いやっ痛っ...!!  
なにしとるんや!!  
やめっやめえやあああ!!」

「ズッ!!」

ドゥッ  
ブチキキッ  
イキッ

「うひょ～!!締めりやがるぜえ～  
処女のメスガキのくせに  
いやらしく育ったデカ尻のおかげで  
肉圧がたまらねええええ!!!」

パッ  
パッ

パッ  
パッ

パッ

「ぎあああ……  
痛い……やめでえ……」

団員たちによる一切容赦のない  
レイプがアカネを襲う。  
初物の膣内は当然濡れてもいないが  
血を潤滑油に無理矢理蹂躞していく……  
もはやアカネは痛みを耐えるしかない……

「ひゃひゃひゃ!!バカかこいつ  
お仲間みんなレイプバトル中だよ!!」

「誰かあ……助けてやあ……  
こんなのいややあ……」

この期に及んで助けを  
求めるアカネだが応える  
ことができる者などいない……  
味方は全員犯されているのだ……

「うおおおお〇〇〇たまんねえ!!  
アカネの膣内気持ち良すぎるう…!!  
こんなの長くは持たねえぜえ…」

「いやああ…もうやめてやあ…  
こんな…酷すぎるう…  
いやっいやいやいやっ…いややあつ!!」

「ひやひやひや  
さっさと射精して  
交代しろよ〜」

「早くしてくれよ  
我慢できねえぜ〜」

びくんっ♡

ビクッ

長年親しんだジムの床の上で  
服を剥かれ裸にされ唯々犯されるしか  
できないアカネ。  
彼女の努力の詰まった思い出の数々は  
残酷な凌辱の記憶へと塗り替えられていく…

「そうだぞ〜  
後は散々つかえて  
るんだからよお〜」

パツ  
パツ  
パツ

パツ  
パツ  
パツ



「うううううう!!  
やべえもう射精するっ  
射精するぞおおおお  
アカネえっ!!」

ドビュルルルル  
アッ

「やっ……ん!!  
膈内に出とる!っ?  
嫌やあああああっ!!」

嫌  
あああッ

「くおおおおお止まらねええ  
孕めっ!!孕めッ!!」

団員たちが避妊など考えるはずもなく  
容赦なく膈内射精が行われる。  
むしろ確実に妊娠させるために  
最後の一滴まで子種を  
注ぎ込まれるのだ……

ビュウッ  
ビュウッ  
ビュウッ

「いややあ……  
ウチ赤ちゃん孕んでまっ……」

「おらっさっさと処理して俺のチンポも扱きやがれっ」

アカネに群がる男たちはあまりにも多い：いきり立った無数の肉棒を捌くために

膣やアナルだけでなく手や口や胸などもフル動員して性処理を行わされる。

ビルの占拠に当たっている団員達も交代で性処理にやつてくるためアカネたちには寝る時間すら与えられず奉仕させられ続けるのだ。

「休んでんじゃねえ舌も使ってしゃぶりっけよオラッ」

ビキッ

ビキッ

「もっと素早く手を動かさせよこうそくいだうだっ!!」

しゅっ

しゅっ

じゅっ

んぐっ

(もう限界や…休ませてえや…ウチもう死んでまう…)

ズニョッ

ズニョッ

「やっぱデカ乳使った【はさむ】は最高だぜ〜」

シキキッ

……ジムのあちこちから  
女たちの悲鳴が聞こえてくる……  
ミニスカート、おとなのおねえさん  
たまたまジムに遊びに  
来ていただけのガールスカウト……  
肩書など意味をなさない  
雌トレーナー達は一人残らず  
犯され続けるしかないのだ。

「んふあ……  
なんふえ……わたひがあ……  
こんふあめにい……」

「おらっ  
奥まで啜るんだよ!!」

「じゅぽっ  
がぼっ  
がぼっ」

「じゅぽっ  
ばたっ  
じゅぽっ」

「あぁっ!!クソッ  
こんな奴らに……  
汚いチンポ入れないでっ!!」

「いやあ!!  
アカネちゃん助けでっ  
助けてよおっ!!」

「くっくっ……  
ミニスカートのマンコも  
締め付けてきやがるぜえ  
ぐおっ……射精るぞっ!!」

「アカネなら  
あつちで同じようにチンポに  
囲まれてるんだよ!!  
諦めて犯されてろっ」


「ドュルルル……  
ドュルルル……  
ドュルルル……」

「ドュルルル……  
ドュルルル……  
ドュルルル……」

ジムの外でも凌辱は繰り返し広げられていた。  
R団に占拠されたラジオ塔では  
監禁されたDJのクルミが  
普段は放送に使われている部屋で  
団員に囲まれて犯されている。

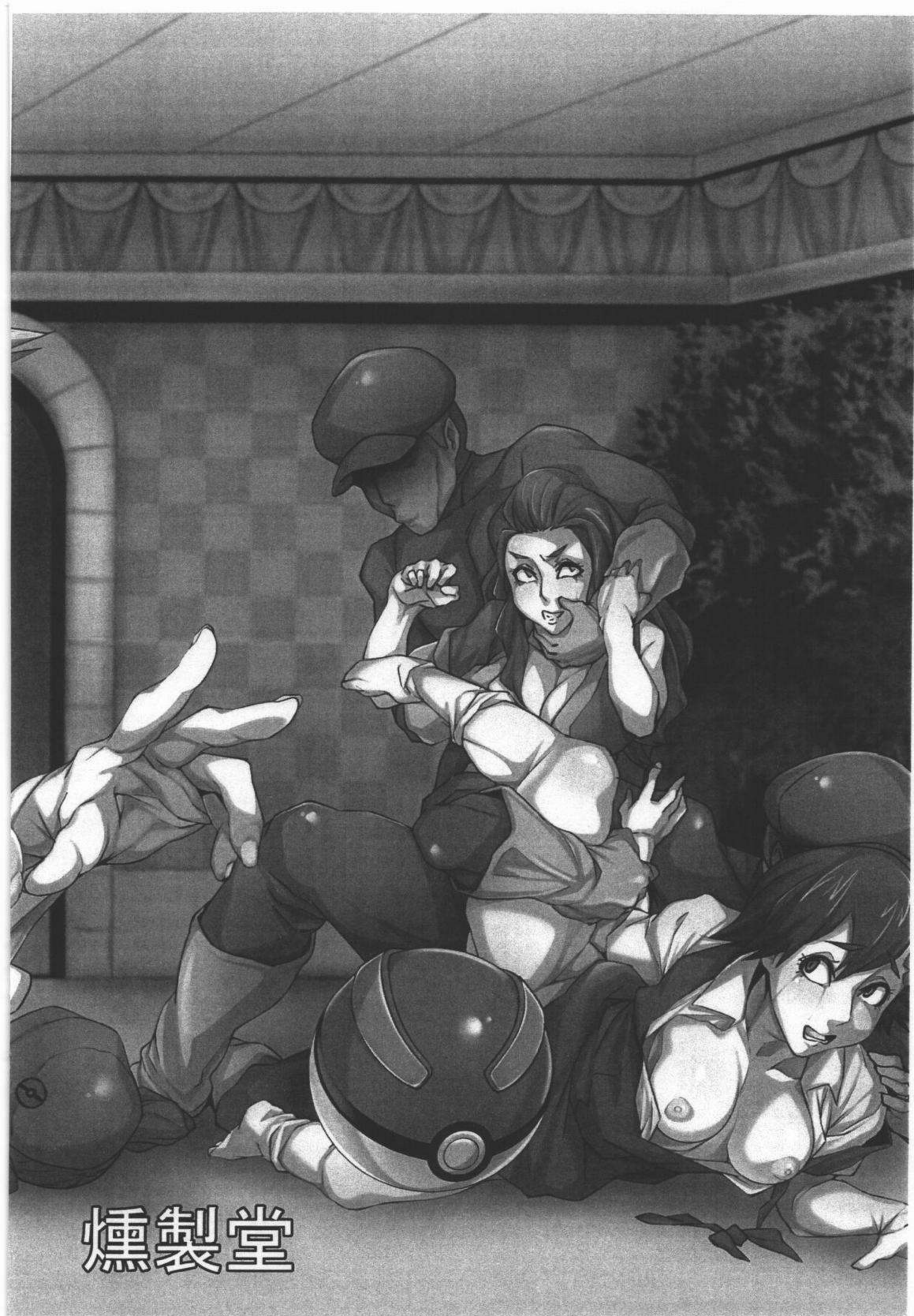
この時に撮影された映像によって脅され  
彼女は後年R団残党の肉便器に墮とされ  
芸能界から姿を消したという……





意識がない状態でも  
犯され続けるアカネ…  
たとえ息絶えそうになっても  
ポケモン用のげんきのかけらを  
口に詰め込まれて蘇生させられる。  
もはや反応は薄くダッチワイフと変わらない  
になっていた…

アカネや他のジムトレーナー達は  
無数のR団員たちにやすまず犯され続けた…  
無限に続くかと思われた凌辱劇だが  
やがてとあるトレーナーによって  
ラジオ塔に占拠していたR団が打倒されると  
ジムに詰めっていた団員達も撤退を開始。  
アカネたちはようやく解放されることとなる。  
しかし彼女たちの痴態は映像に収められており  
その映像を流出させられたことにより  
ジムリーダーとしての道は閉ざされること  
なるのだった…



燻製堂